

**令和元年秋の外国人叙勲  
マーク・マリンス氏の旭日中綬章受章**

令和元年11月6日  
在オークランド日本国総領事館

令和元年11月3日（日本時間）、日本政府は、令和元年秋の外国人叙勲受章者を発表し、この中でマーク・マリンス氏が叙勲されることが公表されました。同氏は、日本・ニュージーランド間の学術交流及び相互理解の促進に寄与した功績が認められ、本年、旭日中綬章を受章することとなりました。

- ・ 賞賜： 旭日中綬章
- ・ 功績概要： 日本・ニュージーランド間の学術交流及び相互理解の促進に寄与
- ・ 氏名： マーク・マリンス (Mark Mullins)
- ・ 主要経歴： 現 オークランド大学人文学部教授  
現 オークランド大学ニュージーランド・アジア研究所日本研究センター所長  
元 明治学院大学社会学部教授  
元 上智大学比較文化学部教授
- ・ 住所（国籍）： ニュージーランド ケンブリッジ市（アメリカ合衆国）

マーク・マリンス氏は、約35年間にわたり、日本の宗教社会学に関して深い分析・研究を行い、多くの論文を発表し、日本の宗教社会学の発展に尽力してきました。

また、同氏は、日本の学者の論文等の翻訳・出版活動を精力的に行い、幅広い分野における日本研究の成果の海外への紹介に貢献しました。

さらに、同氏は、平成25年からオークランド大学ニュージーランド・アジア研究所日本研究センターの所長に就任し、国際会議を精力的に開催し、日本研究の成果を発表するなど、ニュージーランドにおける日本研究の発展、日本研究の後進の育成、日本の研究者とのネットワークの構築に寄与しました。

（了）